

◆お名前/ご所属：中前博久(ナカマエヒロユキ)先生/大阪公立大学大学院 医学研究科血液腫瘍制御学

◆研究テーマ：革新的 GVHD 予防法による造血幹細胞移植のドナープールの拡大と予後改善のための GVHD 予防機序の解明

◆助成金額：100 万円

#### 1：研究者になろうとしたきっかけ

先人たちにより骨髄移植、分子標的治療や抗体療法など様々な血液疾患に対する画期的な治療が開発されてきました。そこには並々ならぬ苦勞、勇氣と英断があったと思います。そのような先人たちの姿に感銘を受けたのがきっかけです。

#### 2：助成研究の内容紹介

移植片対宿主病（GVHD）は同種造血細胞移植後の死亡原因となる最大の合併症です。移植後エンドキサン（PTCy）による GVHD 予防は HLA 不適合移植を可能にすることでドナープールの拡大につながり、国際的に広がってきています。我々の施設は日本で初めて PTCy による HLA 不適合移植を行いました。しかしながら、その作用機序は十分には分かっていません。本研究では PTCy の GVHD 予防機序の解明のための包括的な研究を行います。

#### 3：2の将来に繋がる結果予想・目標

安価で簡便な PTCy による GVHD 予防により医療財政の財源不足や非血縁ドナーのコーディネイトが難しい発展途上国においても、血液悪性疾患の患者さんが移植を受ける機会が増えることが期待されます。

#### 4：全国の RFL 関係者に一言メッセージ

この度は本研究助成にご採択いただき心より感謝申し上げます。血液疾患の患者さんの予後改善のために、誠心誠意尽力して行きたいと考えております。